

イタリアンライグラスの極早生優良品種「さちあおば」

畜産試験場 草地飼料担当

イタリアンライグラスは、収量が多く、嗜好性の高い秋播種の冬作飼料作物として栽培されているが、多様な特性を持った多くの品種が市販されており、作付品種の選定を行う判断材料が求められている。

そこで、市販品種のうち有望度の高い品種について本県における諸特性を明らかにし、優良品種の選定を行い、新たに極早生種の「さちあおば」を奨励品種に選定したので紹介する。

【普及したい技術のポイント】

- 1 極早生品種で9月下旬までの播種で年内に出穂し収穫可能である。
- 2 出穂始めは極早生奨励品種「シラスアオバ」より遅く「ハナミワセ」と同程度である。
- 3 草丈は「シラスアオバ」、「ハナミワセ」より高く、草型は直立性で耐倒伏性があり機械作業性に優れる。
- 4 年内草収穫後の再生力も優れるため合計乾物収量は「シラスアオバ」よりも多収である。
- 5 早期に多収が得られ、春1番草が4月前半までに出穂期刈りできるため、水田裏での放牧利用や早播きとうもろこし栽培との組み合わせに適する。

表1 生育特性

試験年度	品種名	播種日 月/日	発芽期 月/日	発芽良否 1~9	定着時草勢 1~9	越冬性 1~9	出穂始	
							年内 月/日	翌年 月/日
H16	さちあおば	9/16	9/18	4.7	3.0	-	12/20	4/5
	シラスアオバ	9/16	9/18	5.7	3.7	-	11/11	4/6
	VE-02	9/16	9/18	4.3	2.0	-	-	4/8
H17	さちあおば	9/22	9/30	5.3	2.6	6.6	-	3/21
	シラスアオバ	9/22	9/30	3.0	1.0	7.0	12/8	3/21
	ウツキアオバ	9/22	9/30	6.0	5.6	7.0	-	3/23
H18	さちあおば	9/26	10/2	7.3	8.3	5.7	12/12	3/5
	ハナミワセ	9/26	10/2	7.0	7.7	6.7	12/11	3/2
	ウツキアオバ	9/26	10/2	7.7	7.7	7.3	12/16	3/19

注：発芽良否、定着時草勢、越冬性、早春草勢は、1(極不良)~9(極良)

表2 収穫特性

試験年度	品種名	収穫日			出穂程度 1~9	病害 1~9	倒伏程度 1~9	草丈 cm	生草収量 kg/a	乾物収量 kg/a	乾物率 %
		3/7	4/13	5/10							
H16	さちあおば	3/7	4/13	5/10	7.0	1.0	1.6	88	985(139)	167(123)	17.0
	シラスアオバ	3/7	4/13	5/10	8.0	1.0	4.5	85	707(100)	136(100)	21.1
	VE-02	3/7	4/13	5/10	5.2	1.0	1.3	87	1102(156)	176(130)	16.4
H17	さちあおば	12/20	4/4	5/2	4.0	2.0	1.6	80	1015(113)	154(112)	15.2
	シラスアオバ	12/20	4/4	5/2	3.6	1.6	1.5	73	892(100)	137(100)	15.6
	ウツキアオバ	12/20	4/4	5/2	3.6	2.0	2.1	84	1102(123)	161(117)	14.4
H18	さちあおば	12/18	4/4	5/10	6.2	1.4	1.6	94	1193(114)	186(108)	15.5
	ハナミワセ	12/18	3/23	4/19	4.2	1.3	1.3	85	1041(100)	172(100)	15.3
	ウツキアオバ	12/18	4/4	5/10	6.0	1.2	2.8	95	1218(117)	201(117)	16.3

注：1) 出穂程度は1(極少)~9(極多)。病害、倒伏程度は1(無)~9(甚大)。

2) 出穂程度、病害、倒伏程度、草丈、乾物率は2又は3回刈りの平均。各収量は合計。

3) 病害は、斑点病の発生程度。その他病害発生無し。

4) ()は標準品種「シラスアオバ」、「ハナミワセ」に対する%